

厚別区内の学校による赤い羽根共同募金の取り組み

毎年、10月から12月までの3か月間、赤い羽根共同募金の活動が行われます。

厚別区では、今年度も区内の小・中・高校学校で募金活動に協力いただきました。札幌市立小野幌小学校（野原明美校長）の24,975円を最高に、総額93,389円の学校募金が集まりました。

札幌市立青葉中学校（佐々木崇博校長 厚別区青葉町10丁目）は、10年ほど前から毎年街頭募金活動に参加しています。今年度も、生徒会役員など8名の生徒が10月5日、サンピアザ広場前で募金の協力を呼びかけました。

同校では、青葉地区の夏祭りや雪中行事など地域のイベントにも積極的に参加しているほか、地域のペットボトル・キャップ回収活動にも取り組んでいます。



青葉中学校生徒会の皆さん

札幌市立もみじ台南中学校（大川 博校長 厚別区もみじ台南7丁目）でも、10月5日、もみじ台ホクノースーパー前で、生徒会役員7名が街頭募金活動を行いました。



もみじ台南中学校生徒会の皆さん

さらに同校生徒会は、足利良裕教諭の発案で、12月中旬に2日間にわたり、朝の登校時間を利用した校内募金運動を行いました。生徒たちは「周知時間が短くて集まったお金が少なかったかもしれない」と振り返っていました。

両校ともに、これまでに3度、札幌市や北海道の共同募金会長から表彰を受賞しています。

高校では、北海道札幌厚別高校（生田仁志校長 厚別区厚別町山本750-15）ボランティア部と北海道札幌啓成高校（中西勝範校長 厚別区厚別東4条8丁目）ボランティアサークルが、それぞれトライアル厚別店前と地下鉄新さっぽろ駅出口で街頭募金活動を行いました。

厚別高校は、毎年生徒会による校内募金にも力を入れています。今年度も12月中旬に5日間にわたり、募金活動を行いました。

生徒会長堀川香奈さん（2年）と自治委員長塩入渚沙さん（2年）は、朝早くから登校し、玄関付近で登校中の生徒に募金の協力を呼びかけました。「活動初日は反応が薄く、ちょっと期待外れでした。そこで、2日目以降は、バンドリのクリアファイルや缶バッジなど高校生世代に入気のグッズを、一定額を寄附してくれた人にプレゼントする作戦にしたところ、募金額が日に日に増えました。」と、ひと工夫した成果に塩入さんは満足そうでした。



厚別高校生徒会長堀川さん（中央左）と
自治委員長塩入さん（中央右）



学校行事などの
イベントがある際は、
ぜひ厚別区社会福祉協議会に
お声をかけてください。

発行

社会福祉法人 札幌市厚別区社会福祉協議会

札幌市厚別区厚別中央1条5丁目 厚別区民センター1F
TEL : (011) 895-2483 FAX (011) 896-4260